

平成 25 年 6 月 20 日

堺市議会議員各位

文化観光局長

## 企画展「ミュシャの横顔」を開催します

アルフォンス・ミュシャ館では、平成 25 年 7 月 13 日(土)から 11 月 10 日(日)まで、企画展「ミュシャの横顔」を開催いたします。

19 世紀末、アルフォンス・ミュシャは時代の流行を反映したポスターや商業デザインによって、パリで一躍有名になりました。ミュシャの人気はアール・ヌーヴォー流行の波にのって高まり、同時期を代表するデザイナー、装飾芸術家として、今日までその名と作品が知られています。

しかし、当時のミュシャには、人気デザイナーとしての活躍の一方で、その肩書や仕事に満足しきれない気持ちもあったようです。事実、ミュシャはその生涯に、ポスターや出版物など、デザイン関連の仕事だけでなく、水彩画や油彩画、それらに関する素描など、商業デザインに関係しない作品制作も多数行っています。

本展では、ポスターや装飾パネル、素描や水彩画、油彩画を通して、アール・ヌーヴォーの寵児とてはやされた装飾芸術家としてのミュシャだけでなく、その名声に葛藤し、表現活動の幅を広げようと模索する、ミュシャの一面を探っていきます。また、多方面にわたる仕事と作品の中にみられるミュシャの「表現」にも注目し、彼を幅広い分野での創造、表現活動を残したひとりの画家としてとらえようと試みます。

とくに今回は、堺市が所蔵するミュシャの油彩画をまとめて出品いたします。ポスターや装飾パネルといった印刷物には無い、ミュシャ自身の手による筆使いを、他の素描や水彩画とともに、ぜひこの機会にお楽しみください。

### 記

展 覧 会 名	企画展「ミュシャの横顔」
会 期	平成 25 年 7 月 13 日(土)～11 月 10 日(日) (前期：平成 25 年 7 月 13 日～9 月 8 日、後期：9 月 12 日～11 月 10 日) *前期のみの出品作品、後期のみの出品作品があります。
会 場	堺市立文化館 アルフォンス・ミュシャ館 〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町 1-2-200 ベルマージュ堺式番館 (JR 阪和線「堺市」駅下車徒歩約 3 分)

開館時間	9時30分～17時15分（入館は16時30分まで）
休館日	月曜日（休日の場合は開館） 休日の翌日（7月16日、9月17日、9月24日、10月15日、11月5日） 展示替臨時休館日（8月6日、9月10・11日、10月8日）
観覧料	一般500円、高・大生300円、小・中学生100円 *小学生未満・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方は無料 *20人以上100人未満の団体は2割引 *与謝野晶子文芸館もご覧いただけます。
主催	公益財団法人 堺市文化振興財団 堺市立文化館 アルフォンス・ミュシャ館
関連イベント	◆ミュージアムトーク 概要：展示室内で学芸員による解説を行います。 日時：平成25年7月21日（日）、8月10日（土）、9月15日（日）、 10月12日（土）、11月3日（日/祝） 各日14:00～（20分程度） ミュシャ館受付前集合 予約・参加費不要（観覧料のみ別途要）
お問い合わせ	文化観光局 文化部 文化課 担当者：曾原（内線）4635 外線：228-7143 FAX:228-8174



①アルフォンス・ミュシャ  
《ドライ・アンペリアル：  
モエ・エ・シャンドン》  
1899年 リトグラフ、紙  
堺市蔵



②アルフォンス・ミュシャ  
《シャンパン・ホワイト・スター：  
モエ・エ・シャンドン》  
1899年 リトグラフ、紙  
堺市蔵



③アルフォンス・ミュシャ

《スラヴの民族衣装を着た少女:《スラヴ叙事詩》の習作》

1911年 油彩、カンヴァス 堺市蔵



④アルフォンス・ミュシャ

《1900年パリ万国博覧会

ボスニア・ヘルツェゴヴィナ館壁画〈下絵〉》

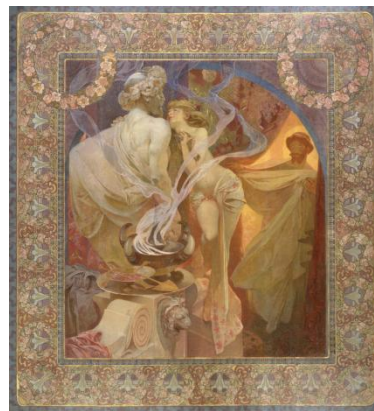
1899-1900年 墨、紙 堺市蔵



⑤アルフォンス・ミュシャ

《ウミロフ・ミラー》

1903-1904年 油彩、カンヴァス 堺市蔵



⑥アルフォンス・ミュシャ

《クオ・ヴァディス》

1904年 油彩、カンヴァス 堺市蔵

### アルフォンス・マリア・ミュシャ(1860-1939) Alphonse Maria Mucha

アルフォンス・ミュシャは、現チェコ共和国の南モラヴィア地方に生まれ、19世紀末のヨーロッパで興った装飾様式アール・ヌーヴォーの旗手として不動の人気を得た画家です。

ミュシャの作品のなかでも、とりわけ女優サラ・ベルナール(1844-1923)との出会いによって生み出された数々のポスターは、彼の名をパリ中に広めることになりました。

ミュシャのポスター・デザインは、堺出身の歌人と謝野晶子(1878-1942)が活躍した雑誌『明星』の挿絵にも影響を与え、日本でもその優美なスタイルがはやくから紹介されています。